

科目名	基礎情報処理 Introductory Information Processing	科目コード	51170
-----	---	-------	-------

学科名・学年	環境都市工学科・1年
担当教員	田中 一浩・宮崎 靖大（環境都市工学科）
区分・単位数	履修単位科目・必履修・2単位
開講時期・時間数	通年，60時間【内訳：講義30】
教科書	岡田正ほか，ネットワーク社会における情報の活用と技術 三訂版，実教出版，2010 長岡高専情報処理共通化WG，情報処理の基礎-エンジニアの卵たちへ-
補助教材	配布資料

【A. 科目の概要と関連性】

情報化社会と呼ばれる今日，情報や情報機器を正しく使えることは，技術者として必須事項である。本科目では，本校のコンピュータおよび情報ネットワークの利用を通じて，コンピュータによる情報の収集・活用・管理の基礎について学習する。

【B. 「科目の到達目標」と「学習・教育到達目標」との対応】

この科目は長岡高専の教育目標の(D)と主体的に関わる。

この科目の到達目標と，各到達目標と長岡高専の学習・教育到達目標との関連を以下の表に示す。

科目の到達目標	評価の重み	学習・教育到達目標との関連
①本校の情報ネットワークの利用方法を理解する	-	(d2)
②情報を操作する上での注意事項を理解し，実践できるようにする	-	(d2)
③文書作成，表計算ソフトによる報告書の作成・データ処理を習得する	-	(d2)
④コンピュータについて，座学と実習により理解する	-	(d2)

【C. 履修上の注意】

ホームルームにおける授業と，端末室における実習授業を行うため，場所をその都度指示する。情報処理は多くの学生が既に親しんでいる内容が含まれるものの，人により進度や理解度がかなり異なるため，自分から意欲的に課題に取り組む姿勢が必要となる。授業中の態度が著しく悪い場合，また欠席や遅刻の回数に応じて，評価からの減点を行うことがある。

【D. 評価方法】

次に示す項目・割合で達成目標に対する理解の程度を評価する。50点以上を合格とする。

- 定期試験（20%）【内訳：前期末10，後期末10】
- レポート（70%）
- その他の試験（10%，小テスト）

【E. 授業計画・内容】

● 前期

回	内容	備考
1	授業の導入とパソコンの仕組み	
2	情報処理とインターネットの基礎	
3	端末室のコンピュータの基本設定	
4	アプリケーションの利用とタッチタイプ	
5	日本語入力とメールの使用	
6	ワープロソフトの使用(1)	
7	ワープロソフトの使用(2)	
8	ファイルの操作と表計算ソフトの使用(1)	
9	表計算ソフトの使用(2)	
10	表計算ソフトの使用(3)およびプレゼンテーションソフトの使用(1)	
11	プレゼンテーションソフトの使用(2)	
12	インターネットによる土木・環境都市工学の学習	
13	情報と社会生活(1)	
14	情報と社会生活(2)	
—	前期末試験	試験時間：50分
15	試験解説と発展授業	

● 後期

回	内容	備考
1	プログラミングの基礎(フローチャート)	
2	プログラミングの基礎(BASIC) 1	
3	プログラミングの基礎(BASIC) 2	
4	プログラミングの基礎(BASIC) 3	
5	UNIX の利用 1	
6	UNIX の利用 2	
7	UNIX の利用 3	
8	プログラミングの基礎(FORTRAN, C) 1	
9	プログラミングの基礎(FORTRAN, C) 2	
10	ネットワークの利用(情報収集)	
11	ネットワークの利用(モラル)	
12	ネットワークの利用(Web 作成) 1	
13	ネットワークの利用(Web 作成) 2	
14	ネットワークの利用(Web 作成) 3	
—	後期末試験	試験時間：50分
15	試験解説と発展授業	